

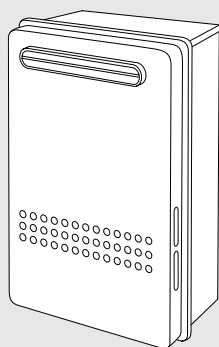
ガス給湯器

34-315/316/317型

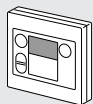
34-325/326/327型

34-335/336/337型

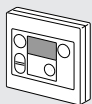
< BL認定品 >	型式名	GQ-2412WE(-1)	GQ-2012WE(-1)	GQ-1612WE(-1)
		GQ-2412WE-T(-1)	GQ-2012WE-T(-1)	GQ-1612WE-T(-1)
		GQ-2412WE-TB(-1)	GQ-2012WE-TB(-1)	GQ-1612WE-TB(-1)



(34 - 315型)



(台所リモコン)



(浴室リモコン)

もくじ

必ずお守りください(安全上の注意)	1
各部のなまえとはたらき	6
使いかた(リモコンがある場合)	
初めてお使いになるときは	10
お湯の出しかた	11
お湯はリブザーの鳴らしかた	13
浴室からの呼び出しかた	15
操作確認音の消しかた、鳴らしかた	15
浴室リモコンでの運転の切りかた	16
冬期の凍結による破損予防	19
使いかた(リモコンがない場合)	
初めてお使いになるときは	10
お湯の出しかた	17
冬期の凍結による破損予防	19
日常の点検・手入れのしかた	21
故障かな?と思ったら	22
アフタ - サ - ビスについて	25
主な仕様	26

取扱説明書

大阪ガス

- このたびは大阪ガスのガス給湯器をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
- ・この説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。
 - ・別添の保証書の内容もよくお読みいただき、必ずお買い上げ日・販売店名等の記入を確かめてください。
 - ・この説明書はいつでもご覧になれるところに保管してください。

必ずお守りください(安全上の注意)

安全に正しくお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

■ 危害・損害の程度による内容の区分






危険 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。

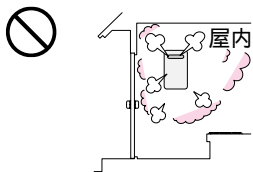
お願い 安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

■ 注意・禁止内容の絵表示

	感電注意		禁止
	高温注意		火気禁止
	アース必要		接触禁止
			分解禁止

危険

屋内設置の禁止



この本体は屋外設置形です。屋内(浴室を含む)への設置は絶対にしないでください。

一酸化炭素中毒の原因になります。

警告

ガス漏れ時の処置



火気禁止



ガス漏れに気づいたときは、次の1～2の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけない。

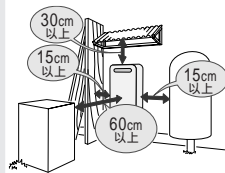
電気器具(換気扇など)のスイッチの入・切や、電源プラグの抜き差しをしない。

周辺の電話も使用しない。

火や火花で引火し、火災のおそれがあります。

1. すぐに使用をやめ、本体のガス栓を閉じる。
2. 販売店または、最寄りのガス事業者(供給業者)に連絡する。

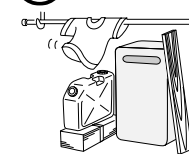
周囲の防火措置について



本体のまわりに燃えやすい物(樹木・木材・箱など)がある場合は、最低限必要な距離をとってください。

火災予防のため。

火災の予防



本体や排気口のまわりに燃えやすい物(洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など)を置かないでください。火災の原因になります。

使用ガス、電源の確認



(銘板) 部分を確認してください。(例: 都市ガス12A, 13Aの場合)

型式	銘板
設置の方式	13A
都市ガス用	12A
定額電圧	AC100V
定額周波数	50 / 60Hz
定額消費電力	
株式会社ノーリツ	

製造年・月を示します。

銘板(ラベル)に表示しているガスの種類以外では使用しないでください。表示以外のガスで使用すると、異常な燃焼・点火の時の爆発などの原因になります。

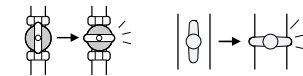
電源はAC100V、50Hzまたは60Hz用です。

他の電源で使用すると火災・感電の原因になります。

わからない場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

異常時・緊急時の処置

1. 給湯栓を閉める。
2. (リモコンのある場合) 運転を「切」にする。
3. ガス栓・給水元栓を閉める。



異常時(排気口から煙が出る、こげ臭いなど)または、地震・火災などの緊急の場合は上記の処置をし、すぐにお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。火災・感電・故障などの予防のため。

警告

やけどに注意



高温注意



シャワーなどお湯を使用するときは、手で湯の温度を確かめてから使用してください。やけど予防のため。

入浴の際には、手で湯の温度を確認してから入浴してください。やけど予防のため。



注意

やけどに注意



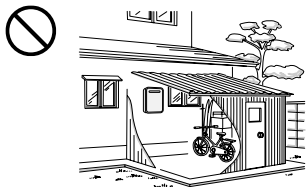
接触禁止

排気口のまわりは、使用中や使用後しばらくは高温です。手を触れないでください。やけど予防のため。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



波板囲いなどの禁止

増改築などによって、本体を屋内状態にしないでください。また、波板などによって囲いをしないでください。一酸化炭素中毒・火災の原因になります。



本体の設置・移動工事は

本体の設置・移動及び付帯工事は、販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置して使用してください。

思わぬ事故を予防するため。

本体のまわりはきれいに

本体のまわりはいつもきれいにしておいてください。

まわりが雑草、木くず、箱などで雑然していると、本体の内部にゴミブリが侵入したりクモの巣がはったりして、本体の損傷や火災の原因になることがあります。

用途について

給湯・シャワー以外の用途には使用しないでください。

思わぬ事故を予防するため。

お願い

A - スの確認

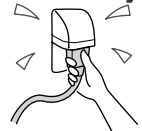


A - スする!

この本体には、A - スが必要ですので確認してください。本体が故障した場合、感電の原因になります。

電源プラグは確実に

シッカリ!



電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込んでください。ほこりが付着したり接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。

本体・リモコンの分解禁止



分解禁止

本体・リモコンは絶対に分解しないでください。故障の原因になります。

リモコンについて



リモコンの掃除には、ベンジンや油脂系の洗剤を使わないでください。変形する場合があります。浴室リモコンは防水型ですが、故障に水をかけないでください。故障の原因になります。(台所リモコンは防水型ではありません。)

台所リモコンに炊飯器、電気ポットなどの蒸気を当てないでください。故障の原因になります。

感電に注意



感電注意



電源プラグは、ぬれた手でさわらないでください。感電の原因になります。

抜き差しはプラグを持って



電源プラグの抜き差しは、プラグを持っておこなってください。コードを持って抜くと芯線の一部が断線して、発熱・火災の原因になります。

停電時の処置

停電したときは、運転が停止します。停電後、設定した給湯温度表示・湯量表示が、お買い上げ時の設定に変わる場合がありますので確認してから使用してください。(電源プラグを抜いたときも同じです。)

市販の補助用具使用について

この本体の純正部品以外は使用しないでください。思わぬ事故を予防するため。水圧の低い地域では、泡沫水栓を使用しないでください。給湯栓の先端に泡沫水栓が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルタ(金網)を掃除してください。(わからないときは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスに確認してください。)

各部のなまえとはたらき -1

お願い

排気ガスについて

排気ガスが直接建物の外壁や窓、アルミサッシなどに当たらないように設置してください。

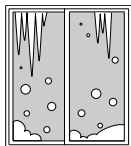
増改築時も同様に注意してください。
ガラスが割れたり、変色する原因になります。

積雪時の注意

積雪時には給・排気口の点検、除雪をおこなってください。

給・排気口への積雪や屋根から落ちた雪により、給・排気口がふさがれて不完全燃焼し、本体の故障の原因になることがあります。

凍結に注意



冬期は、凍結による本体の破損予防のため必要な処置をしてください。

(☞P19)

凍結すると、水漏れや故障の原因になります。

長期間使用しない場合

長期間使用しない場合、凍結および万一のガス漏れを防止するため、必要な処置をしてください。
(☞P20)

太陽熱温水器との接続時の注意

太陽熱温水器と接続できますが、高温のお湯が出るなどやけどの危険がありますので、注意して使用してください。

日常のお手入れ

浴そう、洗面台はこまめに掃除してください。
湯アカが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。

ガス事故防止

使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

温泉水や自家用井戸水で使うと

水質によっては、本体内の配管内部に異物が付着するなど耐久性を損なう場合があります。

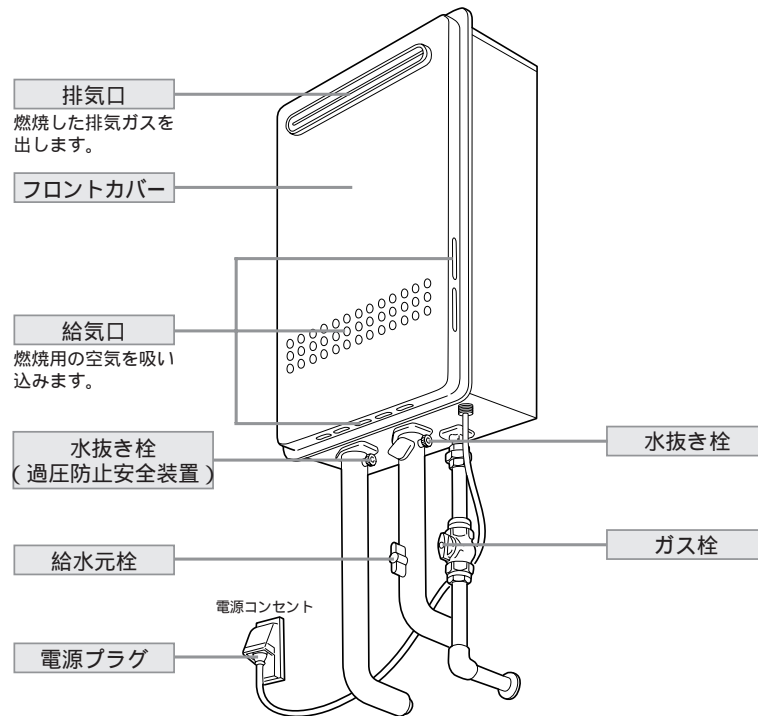
飲用にお使いのときは

長時間使わなかった後の使い初めのお湯は、念のため雑用水としてお使いいただき、その後飲用・調理にお使いください。

本体

34-315, 34-325, 34-335型

【屋外設置形】



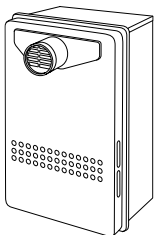
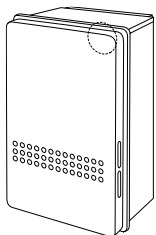
上のイラストは施工例です。

配管の形状、給水元栓・ガス栓・電源コンセントの位置など実際と異なります。

各部のなまえとはたらき -2

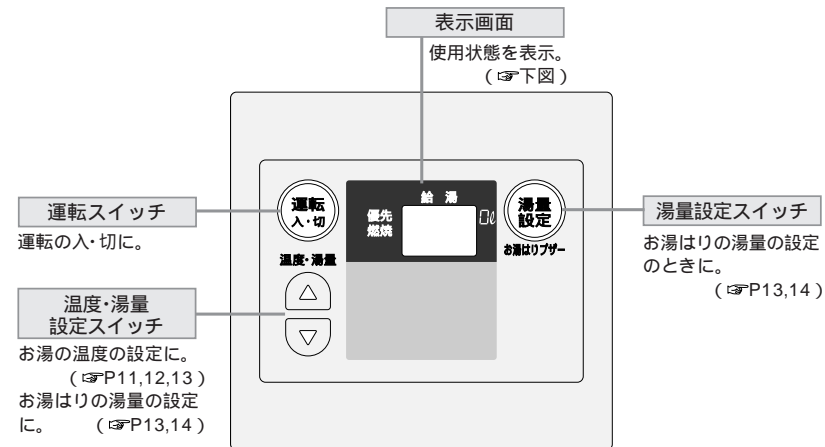
品名と外観

排気部の形状が異なり設置形態が変わります。

屋 外 設 置 形	P S 設置前方排気延長	P S 設置後方排気延長
	34-316 型 34-326 型 34-336 型	34-317 型 34-327 型 34-337 型
		

台所リモコン(38-545型)<別売品>

(台所などに取り付けます)



表示画面

下記の表示画面は説明のため、すべて表示したものです。
実際の運転の時は、該当部分を表示します。
給湯温度表示が出ているときは、運転「入」の状態です。

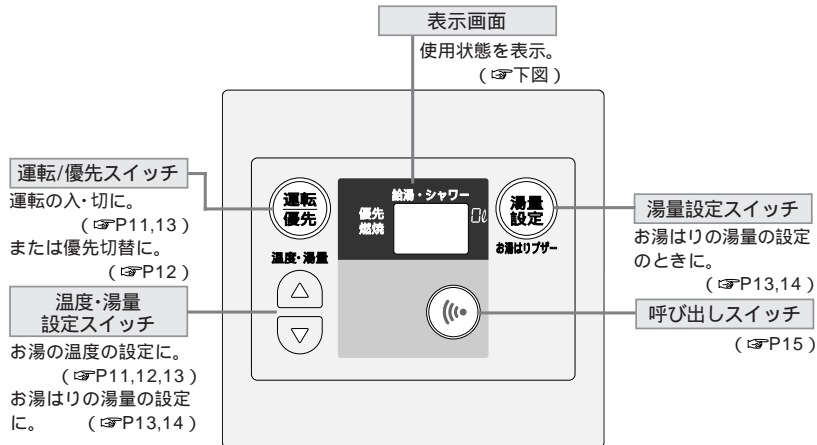


ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

各部のなまえとはたらき -3

浴室リモコン(38-546型)<別売品>

(浴室などに取り付けます)



表示画面

下記の表示画面は説明のため、すべて表示したものです。
実際の運転の時は、該当部分を表示します。
給湯温度表示が出ているときは、運転「入」の状態です。



ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

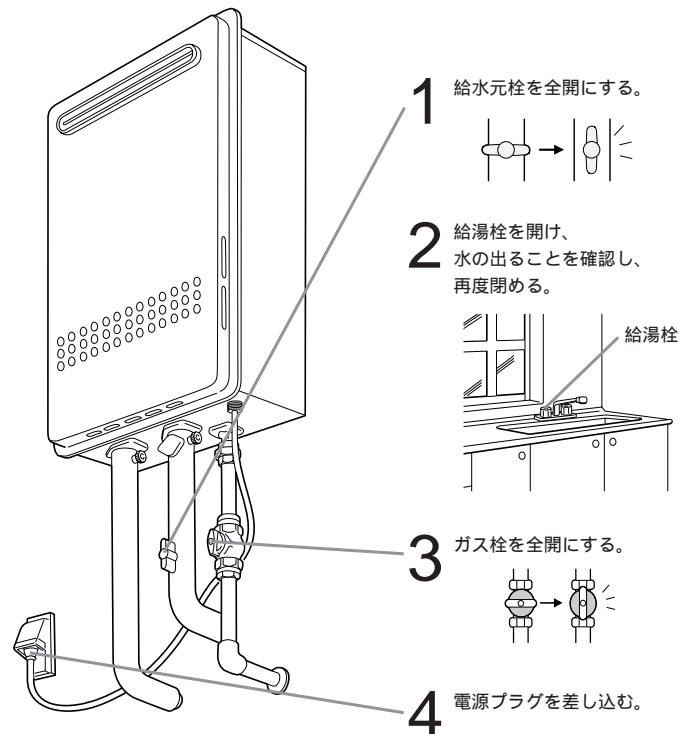
使いかた

初めてお使いになるときは

初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

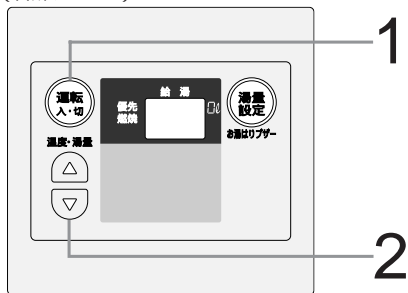
1～4 の手順でおこなってください。

・34-315型の例(他の製品でも手順は同じです)

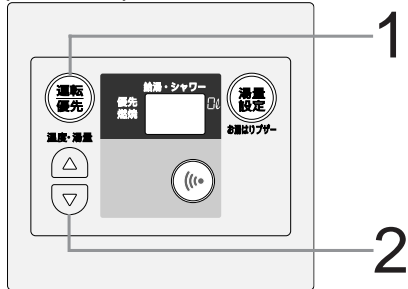


使いかた(リモコンがある場合) お湯の出しかた

(台所リモコン)



(浴室リモコン)



ここでは台所リモコンで説明します

< 運転「切」のとき >

1 運転スイッチ
押す



温度表示が点灯します。

点灯

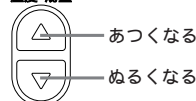


前回は設定した温度
(例: 40℃)

< 一度設定すると記憶します >

2 温度を調節する
(変更しないときは
温度を確認する)

温度・湯量



点灯確認



お湯の温度

3 給湯栓を開ける



点灯

4 給湯栓を閉める



消灯

37～48℃の1℃きざみと60℃、75℃で調節できます。

(℃: 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、
実際の温度とは異なります。)

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	60	75
食器洗 いなど		シャワー、給湯など						給湯など				高温	

サーモ付混合水栓の場合は、
リモコンのお湯の温度設定をご希望の
温度の約10℃アップに設定すると、
ちょうどよくなります。

いったん運転を切り、再度使用する場合、前回の設定温度が75℃のときは、安全のため60℃になります。

警告

やけど予防のために



高温注意

シャワーなどお湯を使用するときは、いきなり体や顔にかけず、手でお湯の温度を確認してから使用してください。

60℃、75℃に設定したときは温度表示が点滅(約10秒)後、点灯してお知らせします。

60℃、75℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。表示の温度をよく確かめてから使用してください。

シャワーなどお湯を使用中のとき、他の人はお湯の温度を変更しないでください。

シャワーなどお湯を使用中のとき、他の人は《優先》を切り替えないでください。切り替えたほうの前回設定した温度に変わります。



< リモコン表示画面 >



点滅 点灯



お湯の温度は、優先ランプが点灯しているリモコン・操作部で調節します

お湯の温度が調節できるのは、優先ランプが点灯しているリモコン・操作部だけです。操作したいリモコン・操作部に「優先」を切り替えてから(優先ランプを点灯させてから)給湯温度設定スイッチで設定してください。

浴室リモコン
「優先」を切り替えたい

運転優先
をふつうに(1秒未満)
押す。

優先ランプが点灯し、
そのリモコン・操作部
でお湯の温度の調節が
できます。



台所リモコン・操作部に
「優先」を切り替えたい

運転入・切
を一度「切」にし、
再度「入」にする。

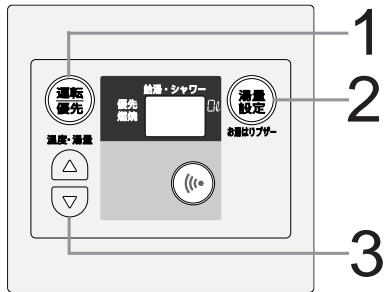
または、浴室リモコンで

運転優先
をふつうに(1秒未満)
押して切り替える。

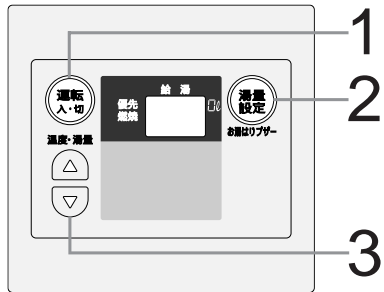
使いかた(リモコンがある場合)

お湯はりブザーの鳴らしかた

(浴室リモコン)



(台所リモコン)



ここでは浴室リモコンで説明します

< 運転「切」のとき >

< 一度設定すると記憶します >

運転前の準備

1. 浴そうの排水栓を閉める。
2. 浴そうのふたをする。(給湯栓の蛇口の部分は開けておく)

1 運転/優先スイッチを押す



温度表示が点灯します。

点灯

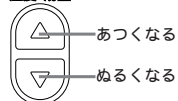


前回に設定した温度(例: 40℃)

2 温度を調節する

(変更しないときは温度を確認する)

温度・湯量



点灯確認



お湯の温度



警告

優先ランプのついているリモコンの給湯温度でお湯はりします



高温注意

浴室リモコンでお湯はり温度を設定しても、お湯はり中に台所リモコン側に優先を切り替えると、お風呂もその温度でお湯はりします。
台所リモコンで高温に設定している場合などは特に注意してください。

浴そうにお湯をはるとき、お湯の量を設定しておく、その量になったときにリモコンのブザーが約10秒間鳴ってお知らせします。

(お湯は自動的に止まりません)



お湯はりの温度の目安

(℃: 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、
℃: 実際の温度とは異なります。)

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるめ			ふつう				あつめ				

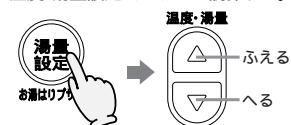
サーモ付混合水栓の場合は、リモコンの温度設定をご希望の温度の約10 アップに設定するとちょうどよくなります。

< 一度設定すると記憶します >

3 湯量を調節する

(変更しないときは湯量を確認する)

湯量設定スイッチを押し(湯量表示点滅) 温度・湯量設定スイッチで調節する。



40~260(20%きざみ)・300・350・400・990%の値で調節できます。
(目安の量)

(注) 990%の場合、ブザーは鳴りません。



お湯はりの湯量 点滅(例: 180%)

点滅中に調節できます。
10秒後温度表示に変わります。

4 給湯栓を開ける



点灯

5 ブザーが鳴ったら給湯栓を閉める

ブザー(ピピッ音)が鳴ったら設定量お湯はりました。お湯を止めてください。



(注) 990%の場合、ブザーは鳴りません。



消灯

サーモ付混合水栓の場合は、設定した湯量でブザーが鳴らないことがあります。(P23)

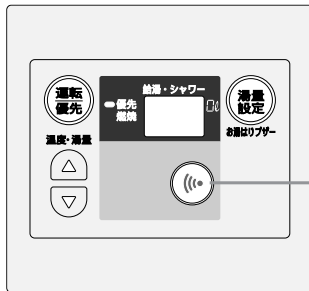
浴室リモコン・台所リモコンのどちらにも優先があっても関係なく湯量の設定ができます。
お湯はり中に台所・他でお湯を使用すると、使用した分だけお湯はりの湯量が少なくなります。
残り湯水がある場合や、お湯はりを中断して再度お湯はりをする場合、浴そうに残っている湯水の量だけ、設定したお湯はりの湯量より多くなります。
前日などの残り湯水があるときは、その分だけ設定した温度よりぬるくなります。

使いかた(リモコンがある場合)

浴室からの呼び出しかた

(台所リモコンと浴室リモコンがある場合)

(浴室リモコン)



台所側などを呼び出すことができます。



呼び出しスイッチ 押す



台所リモコンでブザーが約3秒間鳴ります。

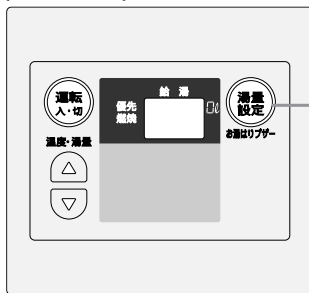
呼び出しスイッチは運転スイッチの「入・切」に関係なく使用できます。

使いかた(リモコンがある場合)

操作確認音の消しかた、鳴らしかた

各リモコンで個別に設定できますが、ここでは台所リモコンでご説明します

(台所リモコン)



リモコンは各スイッチを押したとき、正常に動作すると「ピッ」という音がします。お好みによりこの音を鳴らなしたり鳴るようにしたりできます。(お買い上げ時は鳴るように設定しています)

運転「切」の状態、湯量設定スイッチ 2秒間 押す



操作確認音を鳴らすようにするときは、2秒後に「ピッ」と音がします。操作確認音を消すときは音はしません。

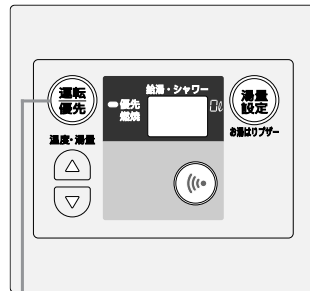
呼び出しブザーおよびお湯はりブザーは、操作確認音を消しても鳴ります。

使いかた(リモコンがある場合)

浴室リモコンでの運転の切りかた

(浴室リモコンがある場合)

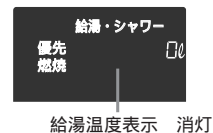
(浴室リモコン)



浴室リモコンの運転/優先スイッチは、
・運転「入・切」
・優先切替

の両方を兼ねたスイッチです。押しかたによって機能が違いますので注意してください。ここでは、運転の切りかたを説明します。(優先切替についてはP12参照)

運転/優先スイッチ しっかり(約1秒間) 押す

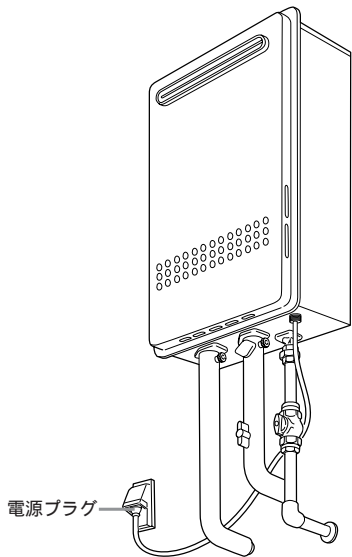


運転/優先スイッチをふつうに(1秒未満)押すと、運転「切」にならず、優先切替になります。(P12)
この場合、給湯温度表示は消えません。

浴室リモコンで運転「入」にする場合は、どんな押しかたでも運転「入」になります。台所リモコンの運転スイッチは、どんな押しかたでも運転の「入・切」ができます。

使いかた(リモコンがない場合)
お湯の出しかた

お湯の温度は、約60℃の高温(一定)になります。
混合水栓でお湯と水を混合してお使いください。



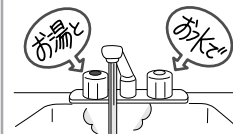
1 電源プラグをコンセントに
差し込んでいるか確認する



2 給湯栓を開ける



3 混合水栓でお湯の
温度を調節する



4 お湯をとめるときは
給湯栓を閉める



電源プラグは通常差し込んだままで、抜く必要はありません。

警告

やけど予防のために



高温注意

シャワーなどお湯を使用するときは、いきなり
体や顔にかけず、手でお湯の温度を確認してか
ら使用してください。



冬期の凍結による破損予防

冬期には本体内の水が凍結し、本体を破損することがあります。
次のいずれかの方法により凍結による破損を予防してください。

通常の寒さのとき (外気温-15 までで無風のとき)

気温が下がってくると、凍結予防ヒータが自動的に作動して本体内を保温し、凍結を予防します。

運転「入・切」に関係なく作動します。

電源プラグを抜くと凍結予防ヒータは作動しませんので、電源プラグは抜かないでください。



凍結予防ヒータでは、給水・給湯配管や、給水元栓などの凍結は予防できません。必ず保温材または、電気ヒータを巻くなどの処置をしてください。(わからないときは、販売店に確認してください。)

冷え込みが厳しいとき

次の要領で給湯栓から水を出して、凍結を予防してください。

1. ガス栓を閉める。
2. <リモコンがある場合> 運転を「切」にする。
3. 給湯栓より少量の水 1 分間に約400cc...太さ約4mmを流したまましておく。



4. 流量が不安定になることがあるので、約30分後に再度流れる量を確認する。

この方法は、本体だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できません。この処置をしても凍結するおそれのある場合には、20ページの要領で水抜きをおこなってください。

再使用のときは、ガス栓を開けてから使用してください。

凍結して水が出ないとき


1. ガス栓・給水元栓を開める。
2. <リモコンがある場合> 運転を「切」にする。
3. 給湯栓を開ける。
4. ときどき給水元栓を開け、水が出ることを確認する。
5. 水が出るようになっても、本体や配管から水漏れがないかよく確認の上、10ページの「初めてお使いになるときは」手順1～4にしたがって使用してください。

凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。本体の故障の原因となります。凍結により本体が破損したときの修理は、保証期間内でも有料修理になります。

長期間使用しないとき

以下の要領で水抜きをしてください。



注意





高温注意

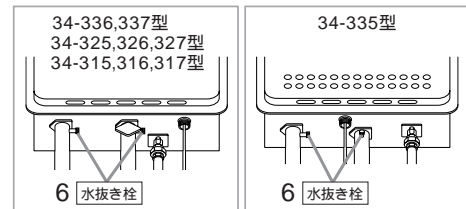
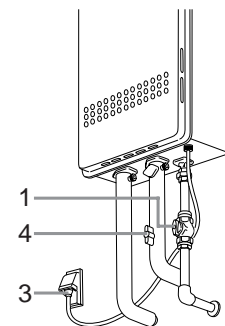
お湯の使用後は、本体内のお湯が高温になっていますので、本体が冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。

集合住宅の場合は、床やパイプシャフト内部に水がこぼれないよう容器などで排水を受けてください。

- 1 ガス栓を閉める。

- 2 <リモコンがある場合> 運転を「切」にする。
<リモコンがない場合> いずれかの給湯栓を全開にする。

- 3 <リモコンがある場合> 電源プラグを抜く。
<リモコンがない場合> 2の操作より20秒以上経過後、電源プラグを抜く。

ぬれた手でさわらないで

- 4 給水元栓を開める。

- 5 すべての給湯栓を全開にする。

- 6 すべての水抜き栓を左に回してはさず。
(水抜き栓からお湯または水が約700cc出ます。)



この方法では、給水・給湯配管や、給水元栓などの凍結は予防できません。必ず保温材または、電気ヒータを巻くなどの処置をしてください。(わからないときは、販売店に確認してください。)

再使用のとき

1. すべての水抜き栓が開まっていることを確認する。
2. すべての給湯栓が開まっていることを確認する。
3. 10ページの「初めてお使いになるときは」手順1～4にしたがってください。

日常の点検・手入れのしかた

点検(月1回程度)

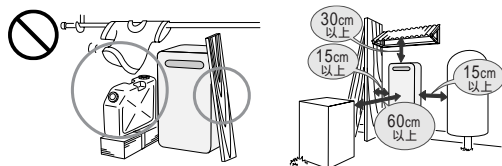
注意



お湯の使用後は、本体内のお湯が高温になっていますので、本体が冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。

チェック!

本体や排気口のまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など、燃えやすいものを置いていませんか。



チェック!

排気口がほこりなどでふさがっていませんか?

チェック!

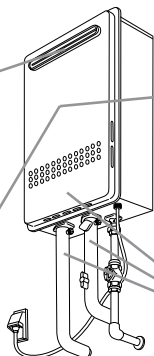
運転中に本体から異常音が聞こえませんか?

チェック!

本体の外観に、変色したあとなど異常はありませんか?

チェック!

本体・配管から水漏れはありませんか?



<例：34-315型>

お手入れ(月1回程度)

本体

本体の外装の汚れは、ぬれた布で落としたあと、十分水気を拭きとってください。特に汚れのひどいときには、中性洗剤をお使いください。

リモコン・操作部

リモコン・操作部の表面が汚れたときは、湿った布で拭いてください。

リモコンの掃除にはベンジンや油脂系の洗剤を使わないでください。
変形する場合があります。
浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。
(台所リモコンは防水タイプではありません。)

<定期点検のすすめ(有料)>

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。販売店にご相談ください。

故障かな?と思ったら-1

次のことをお調べください

運転ランプが点灯しない

停電していませんか?
電源プラグが差し込まれていますか?

給湯栓を開いてもお湯が出ない
使用中に消火した

ガス栓・給水元栓が全開になっていますか?
断水していませんか?
給湯栓はじゅうぶん開いていますか?
凍結していませんか? (P19)
ガスメータ(マイコンメータ)がガスをしゃ断していませんか?
LPガスの場合、ガスがなくなっていないですか?

高温のお湯が出ない
低温のお湯が出ない

ガス栓・給水元栓が全開になっていますか?
(リモコンがある場合)リモコンの給湯温度設定は適切ですか? (P11,12)

(リモコンがある場合)
給湯温度の調節ができない

そのリモコンの優先ランプは点灯していますか? (P12)

故障かな？と思ったら-2

次のような場合は故障ではありません

給湯栓を絞りすぎて水になった

給湯栓から流れるお湯の量が1分間に約3%以下になったとき消火します。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。

給湯栓を開いてもすぐお湯が出てこない

本体から給湯栓まで距離があるので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。

お湯が白く濁って見える

これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられて、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール・サイダーなどの泡と似た現象であり汚濁とは違い、無害です。

寒い日に排気口から白い煙が出る

冬に吐く息が白く見えるように、排気ガス中の水蒸気が白く見えるためです。

本体の給湯側の水抜き栓(過圧防止安全装置)からお湯(水)が少しの間出ることがある

製品の機能上(しくみ)であり、異常ではありません。

運転を停止してもしばらくの間ファンの回転音(ブーン)がする

運転スイッチを「入・切」したり給湯栓を閉めたとき、給湯温度を変更したときなどに、モータが動く音(ウィン、ウィン)がする

再使用時の点火をより早くするため、また、再使用時にお湯の温度を早く安定させるなどのためです。

低温のお湯が出ない

夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。

停電または電源プラグを抜いた後、給湯温度が変わってしまう

停電または電源プラグを抜いた後、再通電すると給湯設定温度がお買い上げ時の設定に変わる場合がありますので設定しなおしてください。

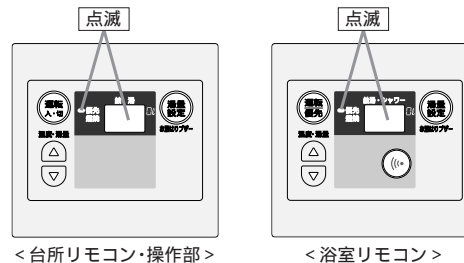
設定量までお湯はりしてもお湯はりブザーが鳴らない

お湯はりブザーは、給湯器で燃烧したお湯が設定量連続して出ると鳴るしくみです。サーモ付混合水栓の場合、水栓で水を混ぜるので、設定したお湯はり量より水の方が多いところでブザーが鳴ります。

故障表示をお調べください

不具合が生じたとき、その原因を故障表示と優先ランプが点滅してお知らせします。下表に応じた処置をしてください。

例：《 0 1 》を表示したとき、下図のような点滅をくりかえします。



表示	原因	処置
0 1	給湯を連続60分以上運転したため	運転をいったん「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常です。
1 1	点火エラーが生じました	ガス栓が開いているか確認し、運転スイッチをいったん「切」にして再度「入」にし、給湯栓を開いて表示が出なければ正常です。

— 以下の場合、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください —

- ・上記以外の表示(例：E 1 など)が出るとき
- ・上記の処置をしてもなお表示が繰り返し出るとき
- ・その他、わからないとき

アフターサービスについて

サービスを依頼される時

22～24ページの「故障かな?と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

連絡していただきたい内容

品名 …………… 34-315・34-316・34-317・34-325・34-326・34-327型
34-335・34-336・34-337型

(下記のようなラベルを本体の正面左中央に貼付けてあります)

(例)

(N) 34-315

大阪ガス株式会社 [04]

お買い上げ日 … (保証書をご覧ください)

異常の状況 …… (故障モード表示など、できるだけ詳しく)

ご住所・ご氏名・電話番号

訪問ご希望日

作業に危険を伴う場所に製品が取り付けられている場合は、アフターサービスをお断りすることがあります。(工事店にご相談ください。)



保証について

この製品には保証書がついています。

必ず「販売店名・お買い上げ日等」が記入されているのを確認してください。

保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間について

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後10年です。

但し、最低保有期間経過後であっても、修理用性能部品の在庫がある場合は有料修理いたします。

なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

転居などで本体を移設されるときは、本体(銘板)に表示してあるガスの種類・電源(電圧)が移設先と合っているか必ずご確認ください。

不明のときは、移設先のガス事業所・お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

ガスの種類の異なる地域へ移設されるときは、本体の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。

主な仕様-1

仕様表 / 能力表

製 品 名	34-315型		
型 式 名	GQ-2412WE	GQ-2412WE-1	
種 類	設 置 方 式	屋外設置形	
	給 湯 方 式	先止め式	
点 火 方 式	放電点火式		
水 圧	使 用 水 圧	98.1～981kPa (1.0～10.0kgf/cm ²)	
	作 動 水 圧	9.81kPa (0.1kgf/cm ²)	
最 低 作 動 流 量	2.7ℓ/分		
外 形 寸 法	高さ600mm×幅350mm×奥行200mm		
質 量 (本 体)	20kg		19kg
	接 続 口 径	給 湯	R3/4
	給 水	R3/4	
	ガ ス	R1/2	
電 気 関 係	電 源	AC100V (50/60Hz)	
	消費電力(50/60Hz)	56W/56W (凍結予防ヒータ141W)	
	電源コードの長さ	1.8m	
温 度 制 御 方 式	電子式ガス比例制御方式		
安 全 装 置	立消え安全装置、空だき安全装置、停電時安全装置、 過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、 過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置		

使 用 ガ ス		1時間当たりのガス消費量 (最大消費量)	出湯能力(最大時) (ℓ/分)	
都市ガス用	13A		水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス用	13A	52.3kW(45,000kcal/h)	24	15
L P ガス用		52.3kW(3,75kg/h)	24	15

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯能力は湯水混合の計算値です。
- ・但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

主な仕様-2

仕様表 / 能力表

製 品 名	34-316型		
型 式 名	GQ-2412WE-T	GQ-2412WE-T-1	
種 類	設 置 方 式	屋外設置形	
	給 湯 方 式	先止め式	
点 火 方 式	放電点火式		
水 圧	使 用 水 圧	98.1 ~ 981kPa (1.0 ~ 10.0kgf/cm ²)	
	作 動 水 圧	9.81kPa (0.1kgf/cm ²)	
最 低 作 動 流 量	2.7 ℓ / 分		
外 形 寸 法	高さ600mm × 幅350mm × 奥行200mm		
質 量 (本 体)	20kg	19kg	
接 続 口 径	給 湯	R3/4	
	給 水	R3/4	
	ガ ス	R1/2	
電 気 開 係	電 源	AC100V (50/60Hz)	
	消費電力 (50/60Hz)	61W/61W	75W/75W
		(凍結予防ヒータ141W)	
	電源コードの長さ	1.8m	
温 度 制 御 方 式	電子式ガス比例制御方式		
安 全 装 置	立消え安全装置、空だき安全装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置		

使 用 ガ ス	1時間当たりのガス消費量 (最大消費量)	出湯能力(最大時) (ℓ/分)	
		水温 + 25℃上昇	水温 + 40℃上昇
都市ガス用 13A	52.3kW(45,000kcal/h)	24	15
L P ガ ス 用	52.3kW(3.75kg/h)	24	15

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯能力は湯水混合の計算値です。
- ・但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

仕様表 / 能力表

製 品 名	34-317型		
型 式 名	GQ-2412WE-TB	GQ-2412WE-TB-1	
種 類	設 置 方 式	屋外設置形	
	給 湯 方 式	先止め式	
点 火 方 式	放電点火式		
水 圧	使 用 水 圧	98.1 ~ 981kPa (1.0 ~ 10.0kgf/cm ²)	
	作 動 水 圧	9.81kPa (0.1kgf/cm ²)	
最 低 作 動 流 量	2.7 ℓ / 分		
外 形 寸 法	高さ600mm × 幅350mm × 奥行200mm		
質 量 (本 体)	20kg	19kg	
接 続 口 径	給 湯	R3/4	
	給 水	R3/4	
	ガ ス	R1/2	
電 気 開 係	電 源	AC100V (50/60Hz)	
	消費電力 (50/60Hz)	61W/61W	75W/75W
		(凍結予防ヒータ141W)	
	電源コードの長さ	1.8m	
温 度 制 御 方 式	電子式ガス比例制御方式		
安 全 装 置	立消え安全装置、空だき安全装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置		

使 用 ガ ス	1時間当たりのガス消費量 (最大消費量)	出湯能力(最大時) (ℓ/分)	
		水温 + 25℃上昇	水温 + 40℃上昇
都市ガス用 13A	52.3kW(45,000kcal/h)	24	15
L P ガ ス 用	52.3kW(3.75kg/h)	24	15

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯能力は湯水混合の計算値です。
- ・但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

主な仕様-3

仕様表 / 能力表

製品名	34-325型		
型式名	GQ-2012WE	GQ-2012WE-1	
種類	設置方式	屋外設置形	
	給湯方式	先止め式	
点火方式	放電点火式		
水圧	使用水圧	98.1 ~ 981kPa (1.0 ~ 10.0kgf/cm ²)	
	作動水圧	9.81kPa (0.1kgf/cm ²)	
最低作動流量	2.7 ℓ/分		
外形寸法	高さ600mm × 幅350mm × 奥行170mm		
質量(本体)	18kg	17kg	
接続口径	給湯	R1/2	
	給水	R1/2	
	ガス	R1/2	
電気関係	電源	AC100V (50/60Hz)	
	消費電力(50/60Hz)	49W/49W	64W/64W
	電源コードの長さ	(凍結予防ヒータ141W) 1.8m	
温度制御方式	電子式ガス比例制御方式		
安全装置	立消え安全装置、空だき安全装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置		

使用ガス	1時間当たりのガス消費量 (最大消費量)	出湯能力(最大時) (ℓ/分)	
		水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス用 13A	43.6kW(37,500kcal/h)	20	12.5
L P ガス用	43.6kW(3.13kg/h)	20	12.5

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯能力は湯水混合の計算値です。
- ・但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

仕様表 / 能力表

製品名	34-326型		
型式名	GQ-2012WE-T	GQ-2012WE-T-1	
種類	設置方式	屋外設置形	
	給湯方式	先止め式	
点火方式	放電点火式		
水圧	使用水圧	98.1 ~ 981kPa (1.0 ~ 10.0kgf/cm ²)	
	作動水圧	9.81kPa (0.1kgf/cm ²)	
最低作動流量	2.7 ℓ/分		
外形寸法	高さ600mm × 幅350mm × 奥行200mm		
質量(本体)	20kg	19kg	
接続口径	給湯	R1/2	
	給水	R1/2	
	ガス	R1/2	
電気関係	電源	AC100V (50/60Hz)	
	消費電力(50/60Hz)	55W/55W	59W/59W
	電源コードの長さ	(凍結予防ヒータ141W) 1.8m	
温度制御方式	電子式ガス比例制御方式		
安全装置	立消え安全装置、空だき安全装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置		

使用ガス	1時間当たりのガス消費量 (最大消費量)	出湯能力(最大時) (ℓ/分)	
		水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス用 13A	43.6kW(37,500kcal/h)	20	12.5
L P ガス用	43.6kW(3.13kg/h)	20	12.5

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯能力は湯水混合の計算値です。
- ・但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

主な仕様-4

仕様表 / 能力表

製 品 名	34-327型		
型 式 名	GQ-2012WE-TB	GQ-2012WE-TB-1	
種 類	設 置 方 式	屋外設置形	
	給 湯 方 式	先止め式	
点 火 方 式	放電点火式		
水 圧	使 用 水 圧	98.1 ~ 981kPa (1.0 ~ 10.0kgf/cm ²)	
	作 動 水 圧	9.81kPa (0.1kgf/cm ²)	
最 低 作 動 流 量	2.7 ℓ / 分		
外 形 寸 法	高さ600mm × 幅350mm × 奥行200mm		
質 量 (本 体)	20kg	19kg	
接 続 口 径	給 湯	R1/2	
	給 水	R1/2	
	ガ ス	R1/2	
電 気 関 係	電 源	AC100V (50/60Hz)	
	消費電力(50/60Hz)	55W/55W	59W/59W
		(凍結予防ヒータ141W)	
	電源コードの長さ	1.8m	
温 度 制 御 方 式	電子式ガス比例制御方式		
安 全 装 置	立消え安全装置、空だき安全装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置		

使 用 ガ ス	1時間当たりのガス消費量 (最大消費量)	出湯能力(最大時) (ℓ/分)	
		水温 + 25℃上昇	水温 + 40℃上昇
都市ガス用 13A	43.6kW(37,500kcal/h)	20	12.5
L P ガ ス 用	43.6kW(3.13kg/h)	20	12.5

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯能力は湯水混合の計算値です。
- ・但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

仕様表 / 能力表

製 品 名	34-335型		
型 式 名	GQ-1612WE	GQ-1612WE-1	
種 類	設 置 方 式	屋外設置形	
	給 湯 方 式	先止め式	
点 火 方 式	放電点火式		
水 圧	使 用 水 圧	98.1 ~ 981kPa (1.0 ~ 10.0kgf/cm ²)	
	作 動 水 圧	14.7kPa (0.15kgf/cm ²)	
最 低 作 動 流 量	2.7 ℓ / 分		
外 形 寸 法	高さ600mm × 幅350mm × 奥行130mm		
質 量 (本 体)	14kg	13kg	
接 続 口 径	給 湯	R1/2	
	給 水	R1/2	
	ガ ス	R1/2	
電 気 関 係	電 源	AC100V (50/60Hz)	
	消費電力(50/60Hz)	41W/41W	49W/49W
		(凍結予防ヒータ131W)	
	電源コードの長さ	1.8m	
温 度 制 御 方 式	電子式ガス比例制御方式		
安 全 装 置	立消え安全装置、空だき安全装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置		

使 用 ガ ス	1時間当たりのガス消費量 (最大消費量)	出湯能力(最大時) (ℓ/分)	
		水温 + 25℃上昇	水温 + 40℃上昇
都市ガス用 13A	34.9kW(30,000kcal/h)	16	10
L P ガ ス 用	34.9kW(2.50kg/h)	16	10

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯能力は湯水混合の計算値です。
- ・但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

主な仕様-5

仕様表 / 能力表

製品名	34-336型		
型式名	GQ-1612WE-T	GQ-1612WE-T-1	
種類	設置方式	屋外設置形	
	給湯方式	先止め式	
点火方式	放電点火式		
水圧	使用水圧	98.1 ~ 981kPa (1.0 ~ 10.0kgf/cm ²)	
	作動水圧	14.7kPa (0.15kgf/cm ²)	
最低作動流量	2.7 ℓ / 分		
外形寸法	高さ600mm × 幅350mm × 奥行170mm		
質量 (本体)	18kg	17kg	
接続口径	給湯	R1/2	
	給水	R1/2	
	ガス	R1/2	
電気関係	電源	AC100V (50/60Hz)	
	消費電力(50/60Hz)	69W/69W	55W/55W
		(凍結予防ヒータ147W)	
	電源コードの長さ	1.8m	
温度制御方式	電子式ガス比例制御方式		
安全装置	立消え安全装置、空だき安全装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置		

使用ガス	1時間当たりのガス消費量 (最大消費量)	出湯能力(最大時) (ℓ / 分)	
		水温 + 25℃上昇	水温 + 40℃上昇
都市ガス用 13A	34.9kW(30,000kcal/h)	16	10
L P ガス用	34.9kW(2.50kg/h)	16	10

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯能力は湯水混合の計算値です。
- ・但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

仕様表 / 能力表

製品名	34-337型		
型式名	GQ-1612WE-TB	GQ-1612WE-TB-1	
種類	設置方式	屋外設置形	
	給湯方式	先止め式	
点火方式	放電点火式		
水圧	使用水圧	98.1 ~ 981kPa (1.0 ~ 10.0kgf/cm ²)	
	作動水圧	14.7kPa (0.15kgf/cm ²)	
最低作動流量	2.7 ℓ / 分		
外形寸法	高さ600mm × 幅350mm × 奥行170mm		
質量 (本体)	18kg	17kg	
接続口径	給湯	R1/2	
	給水	R1/2	
	ガス	R1/2	
電気関係	電源	AC100V (50/60Hz)	
	消費電力(50/60Hz)	69W/69W	55W/55W
		(凍結予防ヒータ147W)	
	電源コードの長さ	1.8m	
温度制御方式	電子式ガス比例制御方式		
安全装置	立消え安全装置、空だき安全装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置		

使用ガス	1時間当たりのガス消費量 (最大消費量)	出湯能力(最大時) (ℓ / 分)	
		水温 + 25℃上昇	水温 + 40℃上昇
都市ガス用 13A	34.9kW(30,000kcal/h)	16	10
L P ガス用	34.9kW(2.50kg/h)	16	10

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯能力は湯水混合の計算値です。
- ・但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。